

しまんと黒尊物語

星空と清流が安らぎをあたえてくれる里

四国のみずはけは、平成の名水百選に選ばれ、新緑や紅葉の名所で知られる。深い原生林に源流を持つ黒尊川。大雨が降っても泥濁りとなることなく青緑色に増水する。(Yuki-k) 口屋内で四万十川と合流するとき茶褐色の本流といくまじり色が分かれる光景となる。ずば抜けた清流の保全が保たれている黒尊川流域である。

黒尊の黒、黒尊と背中合わせの目黒。「黒」が二つ並ぶ。「黒」とは花崗岩に含まれる砂鉄製分である黒雲母を意味するといわれる。また、四万十川の植物プランクトンを含む鉄分の供給源でもある。

森林軌道 かつて無尽蔵の天然林が林立しており、林業の隆盛と共に栄えていた。(みずほ鉄道～大黒山間) 戦前、大黒山～口屋内部に森林軌道が通じ、機関車がトロッコを牽引し、1日に往復走っていた。当時の子どもたちは軌道で遊ぶ、通学していたという。

黒尊神社 樹齢500年といわれる大木が丘に倒され、神々しい空気がじんわりとみはざる。祭神は大黒と伝えられ、奥の院前の淵に住んでいると。淵に生卵を投げ入れて卵が割れなければ、願い事が叶うと伝えられている。



新鮮な木の香りが漂って気持ちよい



日本の原風景 まるで昔話のようなのどかな山里。 清流に泳ぐ自転車でのんびり遊ぶのも爽快。

日本の原風景 まるで昔話のようなのどかな山里。

おおぞろ 大黒山に素振り。岩をぶつけると、思わぬ音がする。かもしれぬ、トンネルを抜けると、そこは愛媛県津島町である。

シカの農作物や山林への被害が甚大。自然のバランスが崩れると、とてつもない被害が及ぶ。シカが警告しているのかもしれない。



口屋内～玖木 8km
黒尊 18km
大黒山 24km
清流に安全運転!!